

島根県立中央病院医学雑誌投稿規定

1. 本誌の投稿は、原則として島根県立中央病院職員および関係者とする。
2. 本誌は年一回発行する。
3. 論文の種類は総説、原著、症例報告、院内および職員主催の研究会・勉強会報告、短報とし、未発表のものに限る。他に依頼原稿を掲載する場合もありうる。
4. 論文を投稿する者はその投稿論文について、著作権上の複製権・公衆送信権を医学雑誌・年報編集委員会に許諾するものとする。
5. 原稿は、原則としてMicrosoft Word（病院内のIIMS端末で閲覧可能であること）を使用して院内メールで医学雑誌・年報編集委員会事務担当者宛に投稿する。スライドの写真など、院内メールで添付できない物がある場合には、医学雑誌・年報編集委員会事務担当者に電子記録媒体（USBメモリ等）で提出する。A4サイズを縦に、印字は横打ちで入力する。原稿は、原則として常用漢字と現代仮名遣いを使用し、学術用語は日本医学会の所定に従う。
6. ページ数は、総説、原著が400字×40枚（A4版12pointでは1ページ35×36文字で12ページ程度）以内、症例報告が400字×25枚（同じく7ページ程度）を目安とする。原則として図、表はそれぞれ1枚としてこの枚数に含めるものとする。
7. 論文の記述の順序は、次のようにする。
 - ① 表題、著者名、所属（英文も併記し、著書名、所属は以下のように入力する）

例）島根太郎¹⁾、出雲次郎²⁾

 - 1) 島根県立中央病院 地域医療科
 - 2) 島根県立中央病院 総合診療科
Tarou SHIMANE¹⁾, Jirou IZUMO²⁾
 - 1) Department of Community Medicine,
Shimane Prefectural Central Hospital
 - 2) Department of General Medicine,
Shimane Prefectural Central Hospital
 - ② 概要（全角400字以内）、索引用語（5文字以内）、英文抄録（abstract 200 words以内）、key words（英語で5語以内）

なお英文については作成が困難であれば必ずしも付記しなくてよい。

結論、まとめは概要に含めることが望ましい。

- ③ 緒言（はじめに）、(対象と) 方法、成績（結果）、考察
- ④ 臨床研究に関する論文の場合、所属施設の倫理委員会の許可を得ていることを証明する書類を添付し、論文内に許可委員会名、研究許可年月日、許可番号、課題名を明記する。
- ⑤ 文献

・文献の引用は論文に直接関係あるものにとどめ、本文引用順に並べ、文献番号を1). 2). 3) とつける。

・本文中では引用部位に、上付で文献番号^{1-3,5)}を入力する。

・文献には著者名3人を入力し、それ以外は他と明記する。

・論文の表題も入力し、本邦の雑誌名は各雑誌により決められている略称を用い、欧文誌はIndex Medicusによる。

・同書を参考とした場合も雑誌名を明記する（「同上」等と表記しない）。

・記載方法は以下を参照。

【雑誌】

著者1, 著者2, 著者3, 他: 表題. 雑誌名, 発行年; 巻(号): 開始頁-終了頁

例) 島根太郎, 出雲花子, 姫原次郎, 他: 病院のあゆみ. 島根県立中央病院雑誌, 1999年; 1(1): 10-15

例) T. Shimane, H. Izumo, J. Himebara, et al: Step of the hospital. Med. J. Shimane Pref. Cent. Hosp, 1999; 1(1): 10-15

【書籍】

著者1, 著者2, 著者3, 他: 表題. 書籍名 (版数) (出版社), 発行年; 開始頁-終了頁

例) 島根太郎, 出雲花子, 姫原次郎, 他: 病院のこれから. 病院の本 (初版) (出雲出版社), 1999; 10-15

例) T. Shimane, H. Izumo, J. Himebara, et

al: From this of the hospital. Book of the hospital (First edithion) (Izumo Publishng.co), 1999; 10-15

【Webサイト】

著者1, 著者2, 著者3, 他:(サイト名) 論
題, URL. 【引用日】

例) 島根太郎, 出雲花子, 姫原次郎, 他:
(島根の医療) 医療ガイドライン,
<http://shimane.jp>. 【1999-08-01】

例) T. Shimane, H. Izumo, J. Himebara, et
al: (Medical care of Shimane) Medical
Guidelines, <http://shimane.jp>. 【1999-08-
01】

⑥ 図、表、写真

- ・図、表、写真はIIMS 端末から閲覧可能であること。
- ・図1、表1、写真1のように順番を付し、原

稿内に挿入すべき位置を明示する。

- ・簡潔な説明文を付記する。
- ・作図は白黒表示を心がける。

⑦ 利益相反自己申告書(本規定巻末書式を使用の
こと)を提出すること。

8. 日付は西暦で表記し、「2010年1月」「20XX年1月1日」のように表記する。
9. 薬剤名は一般名を表記する(商品名を表記しない)。
10. 論文の採否は医学雑誌・年報編集委員会で決定する。
11. 校正は原則として初校のみを著者が行う。
12. 掲載料は無料。ただしカラー印刷は実費を著者負担とする。
13. 執筆者には別刷り30部を無料進呈する。それ以上は実費を著者負担とする。

島根県立中央病院医学雑誌 利益相反自己申告書(概要)

《 論文名 : _____ 》

上記研究題目に関連する以下の1～4について、その有無を申告してください。
(下記1～3については、申告日から起算して過去1年間の状況、4については申告日現在の状況を申告すること)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 企業・団体との外部活動(診療活動を除く) ^{(*1) (*2)} | 無 / 有…別添(詳細)の通り (氏名: _____) |
| 2. 企業・団体からの収入(診療報酬を除く) ^{(*1) (*3)} (年間の合計収入が同一外郭組織から100万円を超える場合) | 無 / 有…別添(詳細)の通り (氏名: _____) |
| 3. 一定の基準額を超える産学官連携活動 ^(*4) (年間の合計受入額が同一外郭組織から200万円を超える場合 ^(*5)) | 無 / 有…別添(詳細)の通り (氏名: _____) |
| 4. 産学官連携活動の相手先のエクイティ ^(*6) 保有 | 無 / 有…別添(詳細)の通り (氏名: _____) |

提出先: 医学雑誌・年報編集委員会 事務担当

- 上記項目について、筆頭著者が、上記の論文に携わる全員分の有無を自己申告書(概要)に取りまとめの上、提出してください。
- 上記項目について、一つでも「有」に該当がある場合は、上記提出書類に加えて、自己申告書(概要)に該当「有」の者の自己申告書(詳細)を提出してください。

- (*1) 申告者(本人)及び申告者の家族(配偶者及び一親等親族まで)について当該項目の該当の有無を申告願います。
- (*2) 企業・団体との外部活動(診療活動を除く)には、上記研究題目に関連する企業・団体の役員・顧問等(コンサルタント等)の該当の有無を記載願います。
- (*3) 企業・団体からの収入(診療報酬を除く)には、上記研究題目に関連する企業・団体からの報酬・給与、ロイヤリティ、原稿料、講演等謝礼金、その他の贈与等が該当します。
- (*4) ここでいう産学官連携活動は、上記研究題目に係る臨床研究で、申請者が関与した共同研究(研究代表者の場合)、受託研究(研究代表者の場合)、コンソーシアム、実施許諾・権利譲渡、技術研修、委員等の委嘱、依頼出張、客員研究員・ポストドクの受け入れ、研究助成金・寄附金受入れ、依頼試験・分析などを含むものとします。
- (*5) 臨床試験の資金提供者からの用途を限定しない寄附金についても、直接経費が年間1,000万円を超える場合には申告するものとします。
- (*6) エクイティとは、公開・未公開を問わず、申告日現在で保有している上記研究題目に関連する企業の株式、出資金、ストックオプション、受益権等をいいます。ただし、公開企業の場合は5%以上の株式保有、未公開企業の場合は1株以上の保有を「有」とします。

本論文に係る利益相反に関する状況は上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

所 属

職 名

筆頭著者氏名

印

| | |
|--------|---|
| 委員会記入欄 | 確認日 平成____年____月____日 利益相反について問題ありません 島根県立中央病院 医学雑誌・年報編集委員会 委員長 |
|--------|---|

印

島根県立中央病院医学雑誌 利益相反自己申告書（詳細）

| | |
|-----|--|
| 論文名 | |
|-----|--|

《 申告者：筆頭著者・共同著者 》（いずれか○印をしてください）

所属（診療科等）：

申告者（職名・氏名）：

電話番号：

FAX 番号：

E-mail アドレス：

1. 評価対象者別の状況

A 申告者（本人）に関すること

当該論文に関係するものについて漏れなく記載すること

1) 外部活動（診療活動を除く全てを記載）

| 外部活動の有無 | 有・無 | （該当するものに○） |
|---------------------------------------|-----|------------|
| ※有の場合のみ，企業・団体ごとに記載（複数ある場合，欄を増やして列記する） | | |
| 企業・団体名 | | |
| 役割（役員・顧問等（コンサルタント等）） | | |
| 活動内容 | | |
| 活動時間（時間／月） | | |

2) 企業・団体からの収入（診療報酬を除く）

| 収入の有無 | 有・無 | （年間の合計収入が同一外郭組織から100万円を超える場合有に○） | |
|---------------------------------------|------|----------------------------------|------|
| ※有の場合のみ，企業・団体ごとに記載（複数ある場合，欄を増やして列記する） | | | |
| 企業・団体名 | | | |
| 報酬・給与 | 万円／年 | ロイヤリティ | 万円／年 |
| 原稿料 | 万円／年 | 講演等謝礼金 | 万円／年 |
| その他の贈与等（ | | ） | 万円／年 |

B 申告者の家族（配偶者及び一親等親族まで）に関すること

当該論文に関係するものについて漏れなく記載すること

1) 外部活動（診療活動を除く全てを記載）

| | | |
|---------------------------------------|-----|------------|
| 外部活動の有無 | 有・無 | (該当するものに○) |
| ※有の場合のみ、企業・団体ごとに記載（複数ある場合、欄を増やして列記する） | | |
| 企業・団体名 | | |
| 役割（役員・顧問等（コンサルタント等）） | | |
| 活動内容 | | |
| 活動時間（時間／月） | | |

2) 企業・団体からの収入（診療報酬を除く）

| | | | |
|---------------------------------------|------|----------------------------------|------|
| 収入の有無 | 有・無 | (年間の合計収入が同一外郭組織から100万円を超える場合有に○) | |
| ※有の場合のみ、企業・団体ごとに記載（複数ある場合、欄を増やして列記する） | | | |
| 企業・団体名 | | | |
| 報酬・給与 | 万円／年 | ロイヤリティ | 万円／年 |
| 原稿料 | 万円／年 | 講演等謝礼金 | 万円／年 |
| その他の贈与等（ | ） | | 万円／年 |

2. 申告者の産学官連携活動

| | | |
|---|------|-------------------------------------|
| 研究題目に係る臨床研究で、申請者が関与した共同研究（研究代表者の場合）、受託研究（研究代表者の場合）、コンソーシアム、実施許諾・権利譲渡、技術研修、委員等の委嘱、依頼出張、客員研究員・ポスドクの受け入れ、研究助成金・寄附金受け入れ、依頼試験・分析などを含む。 | | |
| 産学官連携活動 | 有・無 | (年間の合計受け入れ額が同一外郭組織から200万円を超える場合有に○) |
| ※有の場合のみ、企業ごとに記載（複数ある場合、欄を増やして列記する） | | |
| 企業名 | | |
| 活動内容 | | |
| 授受金額 | 万円／年 | |

3. 産学官連携活動の相手先のエクイティ

| | | |
|---|-----|------------|
| エクイティ equity とは、公開・未公開を問わず、株式、出資金、ストックオプション、受益権等をいう | | |
| エクイティ保有の有無 | 有・無 | (該当するものに○) |
| ※有の場合のみ、企業ごとに記載（複数の場合、欄を増やして列記する） | | |
| 企業名 | | |
| エクイティの種類(数量) | | |

4. インフォームドコンセント（IC）への記載

| | | |
|-------------------|-----|------------|
| 説明・同意文書を添付すること | | |
| 利益相反に関する 記載の有無 | 有・無 | (該当するものに○) |

私の論文に係る利益相反に関する状況は上記のとおりであることに相違ありません。

申告日 平成 年 月 日

申告者氏名（自筆） _____ 印

注：申告日より起算して、過去1年間の活動・報酬について記載する。（3. 産学官連携活動の相手方のエクイティについては、申告日現在の状況で記載する。）

自己申告書（詳細）における用語説明

- ① 申告者の家族とは、著者の配偶者、扶養が必要な未成年の子、資金提供者によって雇用されている成人した子、又は収入や財産を共有する立場にある親族（原則的には一親等まで）であり、これらは「著者の家族」とみなされる。
- ② 顧問等（コンサルタント等）とは、顧問としてアドバイザーの役割を果たしている場合などが該当する。例えば、投資事業、ライセンス活動、又は営利を目的とする組織のために顧問やコンサルタントをして、そこからコンサルタント料などの収入があった場合が該当する。
- ③ 講演等謝礼金とは、講演、セミナーでのプレゼンテーションや参加に対して支払われる謝礼が該当する。
- ④ その他の贈与等とは、執筆活動に直接関連していない旅行費用、贈答品、現物支給等が該当する。
- ⑤ 申告者の産学官連携活動については、当該論文に関連する全ての費用等を意味しており、もし、それが執筆活動の資金提供者、又は、執筆費用の提供者によって雇用されているエージェントによって支払われた執筆費用であっても該当する。また、執筆活動の資金提供者からの用途を限定しない寄附金であっても、直接経費が1,000万円を超える場合は申告するものとする。
- ⑥ エクイティの保有については、投資事業、ライセンス活動、又は営利を目的とする組織の株（公開株又は未公開株）を保有し、その保有から利益（申告者によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用される場合を除く）を得ている場合が該当する。ただし、公開企業の場合は5%以上の株式保有、未公開企業の場合は1株以上の保有が該当するものとする。